

関係者各位

大和インベスター・リレーションズ株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-1

大和八重洲ビル

Tel 03-5555-4111(代表) Fax 03-5202-2020

大和 IR、2013 年「インターネットIR表彰」を発表

大和インベスター・リレーションズ株式会社(東京都中央区 社長:駿田 和彦 以下、「大和IR」)は、上場企業のIRサイトを独自の基準で評価・採点し、特に優秀なIRサイトを構築し、情報開示ならびにコミュニケーション活動で有効に活用している 179 社を以下の通り受賞企業として選定いたしました。

評価基準については、インターネット IR を取り巻く環境の変化を勘案した見直しを行い、各賞の選定においては、昨年の得点基準を踏襲しました。なお、昨年は英語版サイトにおいて際立ったサイト構築を実現している企業を特別賞といたしましたが、2013 年インターネットIR表彰では、日英双方において最高得点を獲得した企業を『最優秀賞グランプリ』として選定いたしました。

なお、2014 年 1 月 17 日(金)に表彰式を開催し、受賞企業には記念品を贈呈させていただきます。内容につきましては、別途ご案内申し上げます。



- ◆ 「2013 年インターネットIR・最優秀賞グランプリ」 1 社
ソフトバンク(9984)



- ◆ 「2013 年インターネットIR・最優秀賞」 7 社
フィールズ(2767)
東芝(6502)
日本電気(6701)
TDK(6762)
日産車体(7222)
NTTドコモ(9437)
カプコン(9697)



- ◆ 「2013 年インターネットIR・優秀賞」 25 社
アサヒグループホールディングス(2502)
ITホールディングス(3626)
富士フイルムホールディングス(4901)
JXホールディングス(5020)
セガサミーホールディングス(6460)
三菱重工業(7011)
三井物産(8031)
住友商事(8053)
MS&AD インシュアランスグループホールディングス(8725)
東京海上ホールディングス(8766)
日本電信電話(9432)
東京ガス(9531)
ファーストリテイリング(9983)

※証券コード順



- 東急不動産ホールディングス(3289)
オリエンタルランド(4661)
コニカミノルタ(4902)
グローリー(6457)
ミネベア(6479)
伊藤忠商事(8001)
東京エレクトロン(8035)
三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)
ソニーフィナンシャルホールディングス(8729)
NTT都市開発(8933)
KDDI(9433)
ベネッセホールディングス(9783)

※証券コード順



◆ 「2013年インターネットIR・優良賞」

146社



国際石油開発帝石(1605)	鹿島建設(1812)	大気社(1979)
アコーディア・ゴルフ(2131)	トライステージ(2178)	明治ホールディングス(2269)
総合警備保障(2331)	ぐるなび(2440)	キリンホールディングス(2503)
宝ホールディングス(2531)	双日(2768)	ニチレイ(2871)
日本たばこ産業(2914)	J. フロント リテイリング(3086)	日清紡ホールディングス(3105)
野村不動産ホールディングス(3231)	産業ファンド投資法人(3249)	アクティバ・プロパティーズ投資法人(3279)
帝人(3401)	東レ(3402)	クラレ(3405)
旭化成(3407)	ティーガイア(3738)	インターネットニシアティフ(3774)
昭和電工(4004)	トクヤマ(4043)	協和発酵キリン(4151)
J S R(4185)	積水化学工業(4204)	宇部興産(4208)
パナソニック インフォメーションシステムズ(4283)	セブテニホールディングス(4293)	武田薬品工業(4502)
アステラス製薬(4503)	大日本住友製薬(4506)	田辺三菱製薬(4508)
中外製薬(4519)	エーザイ(4523)	参天製薬(4536)
テルモ(4543)	生化学工業(4548)	第一三共(4568)
パーク24(4666)	明光ネットワークジャパン(4668)	ソフトバンクテクノロジー(4726)
サイバーエージェント(4751)	楽天(4755)	資生堂(4911)
ライオン(4912)	ホーラ・オルビスホールディングス(4927)	コスモ石油(5007)
出光興産(5019)	旭硝子(5201)	日本板硝子(5202)
フジミインコーポレーテッド(5384)	朝日工業(5456)	住友金属鉱山(5713)
U A C J(5741)	L I X I Lグループ(5938)	ナブテスコ(6268)
小松製作所(6301)	日立建機(6305)	ハーモニック・ドライブ・システムズ(6324)
栗田工業(6370)	日立製作所(6501)	三菱電機(6503)
富士電機(6504)	マブチモーター(6592)	日本電産(6594)
オムロン(6645)	富士通(6702)	ルネサスエレクトロニクス(6723)
パナソニック(6752)	シャープ(6753)	ソニー(6758)
横河電機(6841)	日本光電工業(6849)	シスメックス(6869)
メガチップス(6875)	太陽誘電(6976)	村田製作所(6981)
川崎重工業(7012)	日産自動車(7201)	トヨタ自動車(7203)
曙ブレーキ工業(7238)	マツダ(7261)	本田技研工業(7267)
富士重工業(7270)	ヤマハ発動機(7272)	ユナイテッドアローズ(7606)
ピーシーエフ・コーポレーション(7618)	スター精密(7718)	ニコン(7731)
トプコン(7732)	キヤノン(7751)	リコー(7752)
ダンロップスポーツ(7825)	パソナ・イムコムホールディングス(7832)	タカラトミー(7867)
凸版印刷(7911)	日本写真印刷(7915)	ヤマハ(7951)
リンテック(7966)	丸紅(8002)	ファミリーマート(8028)
日本ユニシス(8056)	三菱商事(8058)	キヤノンマーケティングジャパン(8060)
イオン(8267)	新生銀行(8303)	りそなホールディングス(8308)
三井住友トラスト・ホールディングス(8309)	三井住友フィナンシャルグループ(8316)	みずほフィナンシャルグループ(8411)
S B Iホールディングス(8473)	リコーリース(8566)	イオンフィナンシャルサービス(8570)
アコム(8572)	オリックス(8591)	野村ホールディングス(8604)
N K S Jホールディングス(8630)	マネックスグループ(8698)	第一生命保険(8750)
T & Dホールディングス(8795)	レオパレス21(8848)	トーセイ(8923)
日本リテールファントム投資法人(8953)	オリックス不動産投資法人(8954)	平和不動産リート投資法人(8966)
福岡リート投資法人(8968)	日本賃貸住宅投資法人(8986)	東京急行電鉄(9005)
ヤマトホールディングス(9064)	日本郵船(9101)	商船三井(9104)
A N Aホールディングス(9202)	郵船ロジスティクス(9370)	エムティーアイ(9438)
東京電力(9501)	九州電力(9508)	電源開発(9513)
大阪ガス(9532)	N T Tデータ(9613)	富士ソフト(9749)
コナミ(9766)	イオンディライト(9787)	

※証券コード順

(ご参考)「インターネットIR表彰制度」の概要

企業IRはインターネットに包摂されるという『5T&C』*の考え方のもと、全上場企業のホームページを調査・評価しています。審査・選定にあたり、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科の北川哲雄教授にご監修いただいております。

*: Timely (適時性)、Transparent (透明性)、Traceable (追跡可能性)、Trustworthy (信頼性)、Total (包括性) + Communication (双方向性)

◆審査過程 <調査期間:2013年6月13日~11月15日>

■ 一次審査

全上場企業 3,602 社を対象に、インターネット IR において基本となる以下の項目について審査しました。

- 適時開示情報開示/ニュースリリースの掲載状況
- 直近期の決算短信の掲載状況
- 株主向けの任意刊行物の掲載状況
- その他の任意刊行物の掲載状況
- 決算説明会などのIRイベントの報告状況
- お問い合わせ先の表示

■ 二次審査

一次審査を通過した 1,469 社の日本語版 IR サイトを大和IRスコアボード(日本語版)に基づいて詳細に評価しました。

【大和 IR スコアボード(日本語版)の主なポイント】

- ① IR サイトが投資家を適切にナビゲートできているか。
- ② 業界環境の説明を通じ、自社のビジネスモデルや強み、経営計画や事業戦略、ガバナンス体制を説明できているか。
- ③ 主要な財務情報の掲載と財務データ、IR 活動に関連する資料を十分なアーカイブと利用者の立場にたった方法で提供しているか。
- ④ 双方向性を意識したサイト運営とユーザビリティの向上が図られているか。
- ⑤ IT 技術及び新たなデバイスへの対応ができているか。

■ 最終審査(英文審査)

日本語版の評価点が 60 点以上の 260 社の英語版 IR サイトについて、日本語版と同様に開示すべき共通項目を抽出する一方で、英語版独自評価項目を策定し、詳細な評価を実施しました。

この英語版の評価点と二次審査における日本語版の評価点を日本語版:英語版=7:3 の比率で統合し総合評価点を算定しました。

【英語版独自項目の主なポイント】

- ① 日本語と英語の情報量の公平性。
- ② 日本語と英語の開示タイミングの公平性。
- ③ 英文のクオリティ。
- ④ 欧米で一般的なオンライン・コンテンツへの取り組み。

なお、英文のクオリティに関する審査においては、株式会社インベスター・インパクト(東京都品川区)の代表取締役会長である C・テイト・ラトクリフ氏にご協力いただいております。

◆受賞企業選定基準と選定方法

- ◎ 総合評価点が 85 点以上の企業を「最優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が 75 点以上の企業を「優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が 60 点以上の企業を「優良賞」候補として選定。

以上の総合評価点をベースに「インターネット IR 表彰」選定委員会にて表彰企業を選定しております。なお、今回は日本語評価点、英語評価点ともに最高得点を獲得したソフトバンクを高く評価し、「最優秀賞グランプリ」として選定しております。

○ 北川教授略歴

- ◆ 早稲田大学商学部卒業、同大学院修士を経て、中央大学大学院博士課程修了(経済学博士)。
- ◆ 1981 年以来、野村総合研究所、モルガン信託銀行(現 JP モルガンアセットインベストマネジメント)等でアナリスト業務に従事した後、2005 年より現職。
- ◆ 専門は「インベスター・リレーションズ」「コーポレート・ガバナンス」「投資情報分析」
- ◆ 主な社会的活動として、日本 IR 研究学会理事、証券経済学会監事、日本証券アナリスト協会試験委員・編集委員会委員。
- ◆ 主な著書として、
 - ① 『IRユニバーシティ IRオフィサー入門』(単著、国際商業出版)2010 年
 - ② 『資本市場ネットワーク論』(単著、文真堂)2007 年
 - ③ 『コーポレート・ガバナンスと企業価値』(分担執筆、石崎忠司他編、中央大学出版部)2007 年
 - ④ 『企業価値向上のための IR・経営戦略』(共著、岡田衣里他 東洋経済新報社)2004 年
 - ⑤ 『証券アナリストのための企業分析』(共著、阿部大輔他、東洋経済新報社)2004 年
 - ⑥ 『企業分析と資本市場』(単著、東洋経済新報社)2000 年

○ C・テイト・ラトクリフ氏略歴

- ◆ C. Tait Ratcliffe, Ph.D.
- ◆ ハーバード大学卒業後、カリフォルニア大学バークレー校にて博士号取得。
- ◆ フルブライト留学生として、慶応義塾大学に留学。
- ◆ 「戦後の日本企業の投資行動計量分析」で博士論文を執筆。
- ◆ スタンフォード大学助教授を務めたのち、ボストン・コンサルティング・グループへ。
- ◆ 1972 年に Ogilvy PR の前身株式会社アイ・ビー・アイを設立し、約 30 年にわたり同社代表取締役社長、日本の IR・PR のパイオニア。
- ◆ 現在、NIRI (全米 IR 協会) 会員。
- ◆ NIRI シニアアラウンドテーブルメンバーであり、国内では、読売国際経済懇話会評議員を歴任。

大和IRは、資本市場に幅広い専門分野を持つ大和証券グループのネットワークを活かし、上場企業・上場予定企業のIRを総合的にサポートしています

以上

【お問い合わせ先】 大和インベスター・リレーションズ株式会社
インターネット IR 事務局 松永/堅持
(電話 03-5555-4039 E-mail biz_dev@daiwair.co.jp)